

法人名 特定非営利活動法人 NPU サイエンスアカデミア

事業計画書

<b>事業名</b>	秩父サイエンスアカデミー及び学校教育支援活動
<b>1. 事業の目的</b>	子どもたちに科学や身近な自然に興味関心もたせ、子どもの科学する心を醸成するために学校教育支援を行うとともに、身近な環境や自然に関する研究発表会等を通して、広く県民・市民に地域の自然の科学的魅力を知る機会をつくる。
<b>2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題</b>	<p>(1) 法人設立の目的</p> <p>①設立目的: NPU サイエンスアカデミアは、大学現職教員・元教員及び高等学校教員・元教員で組織され、子どもの科学する心を醸成し、学校教育を支援する目的で2019年(令和元年)5月に法人を設立したものである。NPUはNIHON PHARMACEUTICAL UNIVERSITY(日本薬科大学)のイニシャルである。</p> <p>②活動: 法人設立以来、子どもの科学する心の醸成に向け、秩父1市4町の教育委員会の後援を得て、学校規模の小さい学校の多い秩父地域で事業を実施している。具体的には、小学生を対象とした「秩父サイエンスアカデミー(実験の部)」や身近な環境や自然に関する研究をしている小学生から大学生、社会人、大学教員の発表の機会として「秩父サイエンスアカデミー(発表の部)」を開催している。また、県内の高校生の研究のアドバイスや小学校・中学校へ薬学からみた「薬物乱用防止教室」を実施している。</p> <p>昨年度は新型コロナ感染で学校教育支援は円滑には進まなかった。</p> <p>③成果: 事業は設立以来、新聞各社の取材も受け広く報道されている。また、地域の教育委員会の理解も深まりつつある。</p> <p>(2) 課題</p> <p>①学校側の授業時間にゆとりがないために、学校の教育現場に直接入る学校教育支援活動は容易ではない。</p> <p>②秩父地域は交通不便地が多く、参加者は利便性の良い市街地に偏る。山間部の子どもたちにどう働きかけるかが課題である。</p> <p>③将来に向けては、閉校になった学校の教室で、長期休業中等に科学教室等を開設できるか自治体との連携を図りたい。</p> <p>(3) 活動の重要性</p> <p>①科学講演や実験を通して、子どもの科学する心の醸成を図ることは、次代を担う子どもたちの健全な育成には極めて重要である。</p> <p>②研究発表会等を通して、森や自然環境に関し広く地域の人たちの科学的理解を深めることは、観光以外の新たな地域の魅力発見となり、創造性のある地域活性化にもつながることになる。</p>

3. 具体的な事業  
内容

【NPO が企画実施する事業】

(1) 秩父サイエンスアカデミー(実験の部)

①趣旨: 子どもの科学する心を醸成する目的で、小学生に地球環境問題、環境と森のかかわり等に興味関心を持たせるために、講演と実験を行う。

②時期: 長期休業中(8月)の1日

③対象者: 秩父1市4町の小学4年生以上

④場所: 秩父地区内県立高校実験室

⑤人数: 約20人

⑥外部協力者・団体: 日本薬科大学、NPO 秩父百年の森

\*秩父1市4町教育委員会後援の予定

(2) 秩父サイエンスアカデミー(研究発表の部)

①趣旨: 秩父は、自然の宝庫であるとともに医薬用に欠かせない薬木の宝庫でもある。秩父の自然を研究テーマにしている小学生・中学生・高校生・社会人や研究者も多い。研究内容を、広く地域の人たちや県民に理解していただき、観光という面のみならず学術的な面からも秩父の魅力知ってもらおう。

②時期: 12月下旬の1日

③発表者: 小学生～大学生、社会人、大学教員

④対象者: 県民や秩父地域の皆さんの参加

⑤場所: 秩父郡市医師会 秩父看護専門学校講堂

⑥人数: 約60人

\*秩父1市4町及び埼玉県秩父農林振興センター後援の予定

(3) 薬用資源観察会

①趣旨: 県内の高校の理科の先生を対象にして、秩父の森の観察会を実施し、理科教育の質的向上と教員の資質向上に資する。

②時期: 8月下旬から9月の一泊

③対象者: 県内の高校理科教員

④場所: 秩父市大滝または荒川地区

⑤人数: 約10人

【学校の依頼を受けて NPO が実施する事業】

① 科学教室

学校の依頼を受けて、主に小学生を対象として、学校で実施する科学教室。2～3校を予定している。

② 小・中学生の薬物乱用防止教室

NPO 会員には、薬学の専門教員が多いことから、教育的側面を重視した「薬学から見た薬物乱用防止教室」を行っている。

(これまでの例) 上尾市立南中学校、小鹿野町立長若小学校

③ 高校科学部等からの研究支援活動

高校の科学部等からの研究支援に基づいて、研究支援を行う。

(これまでの例) 埼玉県立秩父農工科学高校の食品分析と機器分析研修、埼玉県立熊谷西高校・春日部高校科学部の研究支援

**4. 具体的な事業の実施計画**

**【NPO が企画実施する事業】**

**(1) 秩父サイエンスアカデミー(実験の部)**

**①実施までの準備及びスケジュール**

- ・ 日時・場所の決定(6月上旬)
- ・ 講師・講演及び実験内容の確定(6月中旬)
- ・ 秩父1市4町の教育委員会の後援依頼(6月中旬)
- ・ 会場校との日程の調整(6月中旬)
- ・ チラシの準備(6月下旬)
- ・ 実施(8月上旬)

**②広報計画等**

- ・ 秩父1市4町教育委員会及び校長会においてチラシの配布
- ・ 各小学校にチラシの配布

**(2) 秩父サイエンスアカデミー(研究発表の部)**

**①実施までの準備及びスケジュール**

- ・ 日時・場所の決定(9月上旬)
- ・ 発表者の確定(10月中旬)
- ・ 秩父1市4町及び埼玉県秩父農林振興センターの後援依頼(10月下旬)
- ・ チラシの準備と配布(11月下旬)

**②広報計画等**

- ・ 各自治体の12月広報誌に掲載依頼

**(3) 薬用資源観察会**

**①実施までの準備及びスケジュール**

- ・ 日時・場所の決定(7月上旬)

**②広報計画等**

- ・ 高等学校生物研究会・理化研究会への広報

**【学校の依頼を受けて NPO が実施する事業】**

・ **学校での科学教室及び薬物乱用防止教室**については、教育委員会に NPO の広報誌を配布し、教育委員会の理解を得ると同時に校長会での配布依頼を行う。(6月上旬)

・ **高校科学部の研究支援**については、多くの高校に対応することは困難が予想される。そのため、これまで NPO や大学に理解を示している理科教員を通して、広報を行う。

**○事業のスケジュール**

時期	
7月	秩父サイエンスアカデミーの広報
8月	秩父サイエンスアカデミー(実験の部)
9月	薬用資源観察会
10月	
11月	上尾市立瓦葺中学校薬物乱用防止教室(確定) 上尾市立南中学校薬物乱用防止教室(確定)
12月	秩父サイエンスアカデミー(研究発表の部)

	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td>高校科学部の研究支援</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td></td> </tr> </table> <p>○広報計画について NPO 活動内容の周知や事業内容の周知について下記に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係地域教育委員会へのチラシの送付</li> <li>・ 関係自治体広報誌への掲載依頼</li> <li>・ 高校理科教員研究会への広報</li> </ul> <p>また、これまでも事業実施については新聞報道もあり、NPO の広報にも役立っている。</p>		高校科学部の研究支援	1月		2月	
	高校科学部の研究支援						
1月							
2月							
<p>5. 事業の実施体制</p>	<p>秩父地域等地域の自治体及び教育委員会の後援を得るとともに、NPO 秩父百年の森や秩父樹液生産協同組合、地元高校や専門学校等と連携し、事業を展開する。</p> <p>○事業の実施について</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">①統括責任者 代表理事</td> <td style="width: 50%;">②連絡責任者 代表理事</td> </tr> <tr> <td>③現場責任者 理事</td> <td>④経理担当者 理事</td> </tr> <tr> <td>⑤広報担当 理事</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>連携体制</p> <pre> graph TD     A[NPO NPU サイエンスアカデミア] &lt;--&gt; B[日本薬科大学 全国科学博物館振興財団]     A &lt;--&gt; C[NPO 秩父百年の森 秩父樹液生産協同組合]     B &lt;--&gt; C </pre> </div>	①統括責任者 代表理事	②連絡責任者 代表理事	③現場責任者 理事	④経理担当者 理事	⑤広報担当 理事	
①統括責任者 代表理事	②連絡責任者 代表理事						
③現場責任者 理事	④経理担当者 理事						
⑤広報担当 理事							
<p>6. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設立時から実施してきた事業も今回で3年目を迎え、秩父地域の自治体・教育委員会でもPOが認知されつつある。</li> <li>・ 助成金の活用により、事業の内容に巾が広がり、学校教育支援等の充実が期待できる。</li> <li>・ 連携体制も整っていることから、子どもの科学する心の醸成や自然の科学的な魅力をさらに深化させるために、事業は継続・発展させる予定である。</li> <li>・ 他の地域で活動しているNPOとの連携も図っていく予定である。</li> </ul>						
<p>7. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体や教育委員会の後援を得て、<u>子どもの科学する心を醸成する取り組みや任意での特定の研究発表会</u>を実施している団体は県内にはない。</li> <li>・ 児童・生徒が大学関係者も交える中での研究発表は、研究の自信にもつながり、人材育成にも貢献している。</li> <li>・ 取り組み内容については全国科学博物館振興財団(事務局 国立科学博物館内)の助言を得ている。</li> </ul>						